

# 漁港は魚の保育園



漁港漁場月報のバックナンバーは左のQRコードから読むことができます

# 漁港漁場月報

令和6年6月15日 発行  
 毎月 1回発行  
 公益社団法人 全国漁港漁場協会  
 発行人 高吉 晋吾  
 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7  
 ウンビン神田ビル2階  
 電話 東京(6206)0066  
 ホームページ http://www.gyokou.or.jp/  
 定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

## 第81回定時総会を開催

### 全国漁港漁場協会



定時総会の様子

## 漁村活性化の切り札「海業」積極的な取り組みを

## 国土強靱化へ対策急務 全国漁港海岸防災協会が総会



挨拶する衛藤会長

全国漁港海岸防災協会(衛藤征士郎会長)は第32回定時総会を6月6日東京千代田区の全日通商が、能登半島地震のほかが関与して開催し、全て

衛藤会長は開催に際し、「私の地元大分県でも5月に地震が発生した。能登半島地震のほかが関与して開催し、全て

の議案を原案通り承認した。来賓として水産庁の田中郁也大臣、漁港漁場整備部長、櫻井政和防

の自然災害が発生している。漁港・海岸インフラ整備の重要性・必要性を再認識し、国土強靱化の取り組みを推進する必要がある。

また、近い将来には南海トラフ等の地震・津波の発生が懸念され、防潮堤などの構造物を強化し、人命を第一としたソフト

を田中大臣が代読し、能登半島地震について「避難

の議案を原案通り承認した。来賓として水産庁の田中郁也大臣、漁港漁場整備部長、櫻井政和防

の自然災害が発生している。漁港・海岸インフラ整備の重要性・必要性を再認識し、国土強靱化の取り組みを推進する必要がある。

また、近い将来には南海トラフ等の地震・津波の発生が懸念され、防潮堤などの構造物を強化し、人命を第一としたソフト

を田中大臣が代読し、能登半島地震について「避難

急務となっている。昨年度は予算対策、海岸保全施設の整備促進運動、全国海岸事業促進運動、全国漁港漁場協会と一層の連携を取り、海岸保全施設の整備促進のための予算確保、防災・減災対策の重要性の啓発普及活動に努めていく」と挨拶した。

森健水産庁長官の祝辞

を田中大臣が代読し、能登半島地震について「避難



挨拶する高吉会長



祝辞を述べる坂本大臣

全国漁港漁場協会(高吉晋吾会長)は第81回定時総会を6月6日午後、東京都千代田区の全日通商が関与して開催し、全ての議案を原案通り承認した。

来賓として坂本哲志農林水産大臣、水産庁から森健水産庁長官、田中郁也漁港整備部長、中村隆計画課長、渡邊浩一整備課

港である根津漁港と津波被害が甚大だった福島の漁港は、水産庁直轄の漁港復興事業を実施している。これまで経験したことのない地震発生に

坂本大臣は「本年1月に能登半島地震が発生し、その後も冬期風浪や地震等により各地で水産物の被害が発生している。被害に合わせた水産物の活用を促進し、復興に力を尽くして取り組んでいく。」

吉晋吾会長は第81回定時総会を6月6日午後、東京都千代田区の全日通商が関与して開催し、全ての議案を原案通り承認した。

来賓として坂本哲志農林水産大臣、水産庁から森健水産庁長官、田中郁也漁港整備部長、中村隆計画課長、渡邊浩一整備課

港である根津漁港と津波被害が甚大だった福島の漁港は、水産庁直轄の漁港復興事業を実施している。これまで経験したことのない地震発生に

坂本大臣は「本年1月に能登半島地震が発生し、その後も冬期風浪や地震等により各地で水産物の被害が発生している。被害に合わせた水産物の活用を促進し、復興に力を尽くして取り組んでいく。」

議事では第1号議案「令和5年度事業報告及

び収支決算の承認に関する件、第2号議案「令和6年度事業計画、収支予算及び公費の承認に関する件、第3号議案「役員報酬の承認に関する件」を原案通り承認した。

の承認に関する件、第2号議案「令和6年度事業計画、収支予算及び公費の承認に関する件、第3号議案「役員報酬の承認に関する件」を原案通り承認した。

の承認に関する件、第2号議案「令和6年度事業計画、収支予算及び公費の承認に関する件、第3号議案「役員報酬の承認に関する件」を原案通り承認した。

の承認に関する件、第2号議案「令和6年度事業計画、収支予算及び公費の承認に関する件、第3号議案「役員報酬の承認に関する件」を原案通り承認した。

の承認に関する件、第2号議案「令和6年度事業計画、収支予算及び公費の承認に関する件、第3号議案「役員報酬の承認に関する件」を原案通り承認した。

の承認に関する件、第2号議案「令和6年度事業計画、収支予算及び公費の承認に関する件、第3号議案「役員報酬の承認に関する件」を原案通り承認した。



記念撮影に臨んだ功績者と水産庁幹部

## 功績者等表彰式を開催

令和6年度漁港漁場功績者等表彰式が第81回定時総会の会場において開催された。功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。

功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。

功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。

功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。

功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。

功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。

功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。

功績者として表彰されたのは、漁港漁場功績者等表彰式は全国漁港漁場協会が主催し、毎年開催されている。



### 第75回通常総会を開催

#### 茨城県漁港協会

茨城県漁港協会（会長 豊田健北）茨城市長は、5月16日14時から水戸市のすいさん会館において、令和6年度通常総会を開催した。

冒頭、豊田会長から「漁港及び漁業地域を巡る環境については、様々な問題を抱えている。産地市場の衛生管理の強化や漁港施設の老朽化・長寿命化対策に加え、本年1月1日の能登半島地震では、漁港や漁業地域において甚大な被害が生じ、大規模災害に対する備え



茨城県漁港協会の総会の様子

請を行っていただく。漁港は、地域の重要な拠点であり、新鮮な魚を提供するだけでなく、地域の文化や歴史、経済にも貢献しており、人と、人と、人々を食をつなぐ場所でもある。漁港が、未来を大切にしたい」と挨拶があった。

続いて、来賓の上野昌文茨城県農林水産部長、高吉晋吾（公社）全国漁港漁協協会会長（森田正

### 第75回通常総会を開催

#### 静岡県漁港漁場協会

静岡県漁港漁場協会（会長理事 中野弘道）焼津市長は、5月21日午後3時30分から静岡市の「ホテルグランヒルズ静岡」において第75回通常総会を開催した。



静岡県漁港漁場協会の総会の様子

冒頭、中野会長は出席者へ来賓への謝辞を述べた後、「社会はコロナ禍から回復しつつあるも、ウクライナや中東情勢の悪化や円安による物価高騰、黒潮大蛇行による不漁等により水産業・沿岸地域は非常に厳しい局面を迎えている。さらに正

生、津波や地震、起が漁港、漁場は大な被害をもたらした。本会は海洋など新たな視点を取り入れ、令和6年度定時総会を開催した。

開会の挨拶、大井会長が「岩手県では東日本大震災津波の発生から、13年2ヶ月が経過し、この間、国・県・市町村及び水産関係団体等関係者

### 第49回定時総会を開催

#### 青森県漁港漁場協会

青森県漁港漁場協会（会長 富岡宏風）青森市長は、5月30日（土）午前11時から、青森市の「エディンバラプラザ」において開催した。

冒頭、富岡代表理事が「フルメタル、サク、サ、パ」などの漁獲が低迷、ホ

博常務理事代読から挨拶があった。その後豊田会長を議長に議事に入り、令和5年度事業報告・収支決算及び剰余金処分（案）、令和6年度事業計画・収支予算（案）の承認を原案通り承認した。

夕方の生産も不安定、AIPS処理水等の課題を抱える中、6年度水産関係予算は5年度修正を加えて2億円を超え、漁港整備の予算は1億円が確保された。今後とも、会員の皆様のご理解と協力をいただきながら、各業務を事業を積極的に進めて参る所存である」と挨拶した。

次いで、来賓挨拶があった。

啓道静岡県経済産業部水産・海洋局長が来賓祝辞を述べた。

その後、浜名漁業協同組合副代表理事組合長を議長として議事に入り、令和5年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支及び収支予算（案）、役員報酬の承認を原案通り承認した。

また、顧問の設置について、理事会において東海大学文学部海洋学専攻教授、同大学海洋学部李銀柱准教授の両名が推薦され、会長が委嘱したと事務局から報告があり、総会は終了した。

### 令和6年度定時総会を開催

#### 岩手県漁港漁場協会

岩手県漁港漁場協会（会長 大井誠治）岩手市長は、5月27日午後2時から盛岡市の水産会館において、令和6年度定時総会を開催した。

開会の挨拶、大井会長が「岩手県では東日本大震災津波の発生から、13年2ヶ月が経過し、この間、国・県・市町村及び水産関係団体等関係者

### 令和6年度定時総会を開催

#### 山形県漁港漁場協会

山形県漁港漁場協会（会長 皆川治郎）山形市長は、5月21日午後2時から岡町の「ホテルヒルズ」において、令和6年度定時総会を開催した。

開会の挨拶、皆川会長が「山形県では東日本大震災津波の発生から、13年2ヶ月が経過し、この間、国・県・市町村及び水産関係団体等関係者

の懸命な努力により、漁港等の水産基盤施設や遊漁施設が整備され、安全・安心な水産物を安定的に供給し、漁業の発展に貢献している。令和6年度定時総会を開催し、令和6年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算（案）の承認を原案通り承認した。

また、顧問の設置について、理事会において東海大学文学部海洋学専攻教授、同大学海洋学部李銀柱准教授の両名が推薦され、会長が委嘱したと事務局から報告があり、総会は終了した。



岩手県漁港漁場協会の総会の様子

安全・安心な水産物を安定的に供給し、漁業の発展に貢献している。令和6年度定時総会を開催し、令和6年度事業報告・収支決算、令和6年度事業計画・収支予算（案）の承認を原案通り承認した。

また、顧問の設置について、理事会において東海大学文学部海洋学専攻教授、同大学海洋学部李銀柱准教授の両名が推薦され、会長が委嘱したと事務局から報告があり、総会は終了した。

### 第76回通常総会を開催

#### 鹿児島県漁港漁場協会

鹿児島県漁港漁場協会（会長 鹿島健一）鹿児島市長は、5月30日午後3時から鹿児島市の「ホテルヒルズ」において、令和6年度通常総会を開催した。

冒頭、鹿島会長から「鹿児島県では東日本大震災津波の発生から、13年2ヶ月が経過し、この間、国・県・市町村及び水産関係団体等関係者

た。水産業のあり方については関係者との対話集いを重ね、方向性を明確に作って行きたい。必要に応じて、調整も必要と見込み、若い人が戻って来て定着するよう努力を怠らな

鹿島会長は、「鹿児島県では東日本大震災津波の発生から、13年2ヶ月が経過し、この間、国・県・市町村及び水産関係団体等関係者

総会終了後新役員による理事会を開催し、代表理事に富岡宏風副理事長（再任）、業務執行理事に對馬康介理事（元青森県農林水産部水産局長・新任）が選任された。

後勇喜氏（十島村土木交通課長）の2名の報告があり、川添会長から感謝状と記念品が贈呈された。議事に入り、前田祝成理事、村崎市長を議長に選出し、令和6年度事業報告、収支決算及び剰余金処分案、令和6年度事業計画案、収支予算案、会費案を審議し、い



鹿児島県漁港漁場協会の総会の様子

雅弥水市長、市田恵八副市長、水戸市長、関村中漁業協同組合長が再任された。議事終了後、櫻井理事長から「漁業の推進について」と題して講演が行われ、参加者一同熱心に聴講した。

総会終了後の午後5時20分からは、同ホテルにおいて約60名の参加者で立食形式の懇談会が行われた。

### 令和6年度通常総会を開催

#### 山形県漁港漁場協会

山形県漁港漁場協会（会長 皆川治郎）山形市長は、5月21日午後2時から岡町の「ホテルヒルズ」において、令和6年度通常総会を開催した。

開会の挨拶、皆川会長が「山形県では東日本大震災津波の発生から、13年2ヶ月が経過し、この間、国・県・市町村及び水産関係団体等関係者

漁港や漁場の維持管理を強化し、令和6年度事業報告及び収支決算、山形県漁港漁場協会会則改正について、山形県漁港漁場協会が承認した。

また、報告事項として、イワカギ増殖施設水調査及び令和6年度漁港・海産物加工施設整備費について事務局より説明があった。

### 令和6年度通常総会を開催

#### 山形県漁港漁場協会

山形県漁港漁場協会（会長 皆川治郎）山形市長は、5月21日午後2時から岡町の「ホテルヒルズ」において、令和6年度通常総会を開催した。

開会の挨拶、皆川会長が「山形県では東日本大震災津波の発生から、13年2ヶ月が経過し、この間、国・県・市町村及び水産関係団体等関係者

# 令和5年度水産白書

## 「海業」明解に伝える

政府は令和5年度水産白書を11日閣議決定した。海業による漁村の活性化を特集しているほか、気候変動による影響と対策やALPS処理水の海洋放出、令和6年能登半島地震への対応などを盛り込んでいる。

特集「海業による漁村の活性化」では、海業を「海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業」と定義、人口減少や高齢化などで漁村の活力が低下する中、地域にある資源を最大限に活用し、所得と雇用の機会確保をめざしている。



①漁港の食堂（千葉県保田漁港）②水産物直売所（福岡県鐘崎漁港）③漁業体験（大阪府田尻漁港）④渚泊（北海道歯舞漁港）

### 各地の先進的な取り組みを紹介

「海業」という言葉を知らない人もわかりやすく伝えているのがポイント。海業の担い手が理解しやすいように、各地の先進的な事例を写真と合わせて紹介している。

海業を推進するにあたり、担い手が白書から学び、事業を主導しやすくなるための構成となっている。

第1節では漁業・養殖業の生産量・消費量が減り、漁村の価値や魅力を生かすための取り組みを紹介している。

第2節では海業の背景として説明、消費者のニーズが「コト消費」や「トキ消費」に移行していること、人材育成や現地調査、活動支援などに加え、海業を取り巻く実際の施策をまとめた「海業支援パッケージ」を作成している。担い手の相談窓口である「海業振興総合相談窓口（海業振興コンシェルジュ）」も開設している。

第3節では「海業の今後の展開」と題し、水産庁としての方針を示した。漁業関係者（行政関係者だけでなく、地域内外の民間企業など）も参加する協議会を設置するなど、多くの関係者を巻き込んだ取り組みを推進している。水産庁は3月に54の「海業の推進」に取り組む地区を決定し、今後、個別に助言や情報提供を行っている。

地方公共団体、漁協・漁業関係者、民間企業、民間団体等が海業に関心をもち、幅広い関係者との情報共有を図る。併せて「海業推進全国協議会」の開催等により、海業の優良な取組事例を普及・横展開する。

また、漁業の利用に支障を与えないことを前提に、漁港施設（長期貸付け、水面等の長期占用等）を可能とするため、令和5年度に改正された漁港及び漁場の整備等に關する法律等に基づき、漁港施設等活用事業を普及するなど、漁港を十分に活かした海業の取り組みを推進することを明記し、漁村に伴走しながら海業を推進する。



漁港施設等活用事業の事業イメージ

### 山口県漁港漁場協会



熱心に聴講する参加者

### 令和6年度漁港漁場関係業務研修会

山口県漁港漁場協会（会長・前田晋太郎下関市長）は、5月15日（水）に山口市内の防長苑において、県及び市町の漁港漁場関係担当者約50名の参加による令和6年度漁港漁場関係業務研修会を開催した。

この研修会は、県と漁港漁場協会の共催により、今年度開催しているものとして、今回で33回目となる（令和2年度（29回）は、令和3年度（30回）は、新型コロナウイルスの影響により書面開催）。研修会は、主催者を代表して田中泰三・山口県漁港漁場整備課長（山口県漁港漁場協会常務理事）の挨拶に続いて、講師は熱心に聴講していた。

この研修会は、県と漁港漁場協会の共催により、今年度開催しているものとして、今回で33回目となる（令和2年度（29回）は、令和3年度（30回）は、新型コロナウイルスの影響により書面開催）。研修会は、主催者を代表して田中泰三・山口県漁港漁場整備課長（山口県漁港漁場協会常務理事）の挨拶に続いて、講師は熱心に聴講していた。

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三 山口県漁港漁場整備課長 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

### 漁港漁場関係工事積算基準講習会を開催

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

山口県漁港漁場整備課長 田中泰三 山口県漁港漁場協会常務理事 田中泰三

### 第52回通常総会を開催

沖縄県漁港漁場協会（会長・宮本哲明）は、5月28日（水）に那覇市の沖縄県水産会館において開催した。

沖縄県漁港漁場協会（会長・宮本哲明）は、5月28日（水）に那覇市の沖縄県水産会館において開催した。

沖縄県漁港漁場協会（会長・宮本哲明）は、5月28日（水）に那覇市の沖縄県水産会館において開催した。

### 5年に一度「常陸大津の御船祭」開催

大津町の佐波成地祇神社は、5月27・28日に開催された。

大津町の佐波成地祇神社は、5月27・28日に開催された。

大津町の佐波成地祇神社は、5月27・28日に開催された。



御船祭（本祭り）II写真II北茨城市提供

に組む木枠100丁を敷き、20、30人の若者が船縁とつながり、左右に揺らぐように木枠の上を滑らすように曳く。

最大の目撃地である、直島の路地を曲がり観客の目の前を擦れ、白煙を上げながら走り抜ける場面では、勇壮な姿に多くの人が盛り上がり、大漁と海上交通安全を願って漁師たちの間で江戸時代の1726年から全長約14m、重量約7tの木造船を使用する。かつては実際に漁で使われていた木造船が使われるのが多かった。漁船に神輿を乗せた陸上渡御は全国でも例がない。